

我孫子市市議会議員

水野ゆうき

ゆう
CanChange!
議会報告 vol.8

水野ゆうきは市政・
議会・議員の見える化を
推奨しています



ブログ <http://ameblo.jp/yuukimizuno/> Facebook 水野友貴 Twitter @yuukitten

決定までの市政プロセスの公開を!!



■ 我孫子市版事業仕分け

我孫子市版事業仕分けは平成24年度までに6回実施し、合計296事業を対象とし事業仕分け決定に基づく市の方針は廃止15件、民営化11件、要改善189件、現行通り81件。今までに廃止となった事業、民営化となった事業による予算反映は5238万8千円のみ。まだまだ仕分け方法に改善の余地があります。

この事業仕分けは行政改革推進委員によって行われ、担当部署によって検討され、最終的に市が判断しますが、どういった議論がされ、どういった結果となったのか反映までのプロセスを市民にわかりやすい形で工夫を要望。市民の税金で

あることをしっかりと認識すべき。今年度実施された事業仕分けでは傍聴者は全体でたったの8名(うち水野含む議員2名)だったことから事業仕分けの広報、ネット中継等を提案。また、分野毎の事業仕分けの仕方ではなく重要事業や緊急課題などを優先的に事業選定を横断的に！市からは来年度からはネット中継を進めたい、全ての分野が一巡したので平成26年度以降の事業選定も柔軟に考えていきたいと答弁を得られました。

■ 子宮頸がん予防ワクチン

ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛がヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン接種後に特異的に見られたことから、同副反応の発生頻度等がより明らかになり、国民に適切な情報提供ができるまでの間、定期接種を積極的に勧奨すべきではないと6月14日に厚生労働省から勧告。我孫子市においても接種の対象者又はその保護者への積極的な勧奨を差し控えることにしているが、接種については対象者に委ねられている状況。婦人科と若い世代をつなげるワークショップを開いたり講演会等を開催するなど、正しい情報を工夫して伝えていくことが必要。

現在定期接種を受けた方で副反応が出た方は市内ではゼロ。子宮頸がんの発症率は厚生労働省によると年間約9千人、死亡は年間約2700人と増えている状況。これまで以上に受診率向上が重要となる中、受診率が低いことから行政側として官・民・学の連携でもう一步踏み込んだ広報・啓発活動を要望。

<平成24年度>ガン検診推進事業のうち子宮頸がん無料検診の受診率

20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	合計
3.6%	7.9%	14.4%	20.0%	23.8%	16.1%

■ 積極的な国際交流を!

我孫子市第3次総合計画の中で国際性をはぐくむ市民活動の活性化が位置づけられており、その中で、国際化への対応、外国人もくらしやすいまちの実現が明記されており、平成22年には「第二次国際化推進基本方針」が策定され、市としてもグローバル化への対応を推進しているが、具体的な取り組みが見えない状況。柏市では米国カリフォルニア州トーランス市と姉妹都市を締結しており、積極的な児童生徒・市民同士の交流が行われている。タイムリーに2020年に東京オリンピック開催が決定。国際的な舞台で外国語でプレゼンできる人材を我孫子市から輩出するような環境整備を。現時点で姉妹都市は結んでいないがテーマに合った交流を進めていきたいと市長から答弁がありました。

水野ゆうきの一般質問(代表質問)要項

大綱1 ネット選挙

- 第23回参議院議員通常選挙
ア 違反行為
イ 市としての考証・課題
- 今後のフォロー体制の確立

大綱2 子宮頸がんワクチン

- 我孫子市としての子宮頸がんワクチンの見解
- 今後の子宮頸がんに対する取り組みと対策
ア 受診率向上に向けて
イ 周知徹底と啓発活動

大綱3 我孫子市版事業仕分け

- 平成25年度事業仕分けの総括
- これまでの事業仕分けの反映状況
- 今後の事業仕分けの在り方
ア 仕分け対象事業の選定
イ 公開性とPR

大綱4 諸外国及び他自治体との交流

- 国際交流
ア 国際交流の現状
イ 今後の交流予定と見解
- 他自治体との交流
ア 他自治体との交流の現状
イ 今後の交流予定と見解